

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すみれ下土狩教室		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 14日		～ 2025年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 7人
○従業者評価実施期間	2025年 3月 14日		～ 2025年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもと職員の関係性。信頼関係。	・療育の内容より先に、一人の人として対等に関わることを大切にしています。	・子どもにとって都合のいい優しさではなく、職員にとって都合のいい厳しさでもない、本当に子どもにとっての安心を提供できるよう。その子にとって何が大切かを職員一同話し合いお互いに高め合っていけるよう努めていきます。
2	・子どもが楽しんで通ってきていること	・答えを教えるのではなく答えにたどり着くヒントとなる支援を意識して行っております。	・安全を第一に職員それぞれが考え動き職員の個性を活かした療育プログラムを展開していきます。
3	・保護者の方々と一緒に療育を考えることが出来ていること	・療育を行う上で願うことなどいつも快く承諾していただいております。保護者の皆様のご理解あって日々の活動が行えるので、信頼を裏切らないよう誠心誠意をもってお子さんと関わらせていただいております。	・懇談会の開催や日々の相談などより情報共有を行える場を整えていきます。 ・情報交換の場を求められている声が多いので窓口を展開しながら、定期的に詳しい活動内容を報告していただけるようおたより、LINEなどを活用していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所としての職員の力不足	・下土狩教室として勤務している職員の経験年数が少なく下土狩教室の色や職員の共通認識が甘い部分がある。 ・ここ数ヶ月職員の異動、退職が多く不安を与えています。	・土台となる療育の共通認識を徹底し、職員が同じ方向を向いて子どもと関われるよう研修などに参加して各々のスキルを磨きます。療育の共通認識のもと職員の個としての個性を活かせるプログラムを考えていきます。 ・子どもはもちろん職員が楽しんで働ける環境を整えていきます。
2	・家族支援の不足	・ご家族の皆様に向けた情報共有や生活の様子の説明など継続して伝えることが出来ていない。 ・懇談会など保護者同士の情報交換の場を作れていない。	・懇談会や面談など実際に保護者の方がすみれの様子を観る機会をつくり、実際に活動の様子を目にする機会を増やしていく。 ・気軽に相談、見学を行える窓口を整えていきます。
3	・長期休みの際の児発と放デイの分離面	・児発と放デイの活動時間が重なり、異年齢の子と一緒に過ごすという面ではとてもいい経験となるが、活動が異なるためどちらかの活動に影響が出てしまうことがある。	・職員の担当を児発、放デイと分け専門的な支援を効率よく展開していくことと、児発と放デイと一緒に活動するメリット、デメリットを抽出し必要に応じて共同、分離を行っていただけるよう努める。